

令和8年5月19日

課 所 名	農産課	農林水産 総合センター 農業研究所 (岡山県病害虫防除所)
担 当 者	岡島・平尾	長森・畔柳
内 線	3818・3834	—
直 通	086-226-7422	086-955-0543

## お知らせ

### 病害虫発生予察注意報を発表しました (果樹カメムシ類)

県では、果樹の主要害虫である「果樹カメムシ類」が、今後、多発生することが予想され、もも、なし等の果実への被害を未然に防止するため、「病害虫発生予察注意報」を発表したので、お知らせします。

農業普及指導センター、農業協同組合等を通じて、生産農家に防除対策の徹底を呼びかけてまいります。

(参考)

#### 1 病害虫発生予察注意報

植物防疫法に基づく病害虫発生予察事業として、病害虫防除所が行う県内の主要病害虫の発生状況調査等から、病害虫の多発が予想され、かつ、早めに防除措置を講ずる必要が認められた場合に発表する。

#### 2 過去の発表状況

近年、「果樹カメムシ類」の注意報は令和2年、令和4年、令和6年に発表している。

#### 3 注意報の根拠

- ・赤磐市の集合フェロモントラップにおける4月21日～5月10日のチャバネアオカメムシ誘殺数は393頭と平年(102.6頭)より多い。
- ・5月8日の巡回調査におけるもも園地での被害は軽微であったが、被害発生園地率は28.6%で平年(5.7%)より高い。
- ・広島地方気象台が4月21日に発表した3か月予報によると、今後の気温は平年より高い見込みとされており、飛来に好適な気象条件であると考えられる。

## ○「果樹カメムシ類」の被害

果樹カメムシ類はもも、なし等で被害が大きい。針のような口を果実に突き刺して汁を吸い、果実の商品価値が下がる。

もも、なしでは果実の小さいときに吸汁されると、その部分の肥大が止まり、収穫期には果面が凸凹になる。また成熟期に近い時期に吸汁されると、吸汁痕が指で押したような水浸状になり、内部はスポンジ状になる。

(注) 果樹カメムシ類の種類：チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ



チャバネアオカメムシ (体長 10~12mm)